

山武市

(平成 30 年 11 月 27 日)

櫻田東京オリンピック・パラリンピック担当大臣の
「ホストタウン・メダルプロジェクトin山武」
キックオフイベントへの出席について

お世話になっております。
標記の件について、別紙のとおりお知らせいたします。
ご確認よろしくお願ひいたします。

【この件に関するお問合せ】

取材案内をご覧ください。

永田クラブ
文科クラブ
体協クラブ

へ貼り出し



平成30年11月27日
内閣官房

【取材案内】

櫻田東京オリンピック・パラリンピック担当大臣の
「ホストタウン・メダルプロジェクト in 山武」キックオフイベントへの出席について

1. 日時： 平成30年11月30日（金）15:20～15:40
2. 場所： 山武市立山武南中学校（千葉県山武市木原 2370）
3. 出席者：
櫻田 義孝 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣（調整中）
松下 浩明 山武市長
加藤 忠勝 山武市議会議長
嘉瀬 尚男 山武市教育長
古賀 稔彦 一般社団法人古賀塾代表理事／バルセロナオリンピック金メダリスト
（柔道 71kg 級）
4. イベント詳細： 別紙1を参照ください。
5. 取材について：
 - （1）取材を希望される方は別紙3に必要事項を記入の上、11月28日（水）17時（必着）までに山武市オリンピック・パラリンピック戦略推進室までFAXによりお申し込みください。
 - （2）取材いただく場合、14:45までに山武南中学校体育館エントランスホールに集合ください。
なお、名刺を受付にて頂戴しますのでご準備ください。
 - （3）イベント終了後、会場にて櫻田大臣のぶら下がりを行います。
 - （4）取材を行う際には、社の記者証を携帯してください。
 - （5）取材位置・時間等については、係員の指示に従ってください。
 - （6）公務の状況によっては、変更または中止となる場合があります。

【問い合わせ先】

<内容について>

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室
鈴木、爲定（ためさだ）、清水 TEL：03-5501-3153
内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
林、三谷 TEL：03-3581-0924

<取材について>

山武市総務部東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室
今関、太田、宇津木 TEL：0475-80-1633
内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
久保、浅原 TEL：03-3581-0161

「ホストタウン・メダルプロジェクト in 山武」キックオフイベントの実施等について

1. 内閣官房と環境省が連携して進める取組概要

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、金・銀・銅あわせて約5千個のメダルが製作される予定となっており、これを使用済み携帯電話等の小型家電から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」（実施主体：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）が実施されています。

このプロジェクトには既に多くの皆様のご協力をいただいておりますが、大会まで2年を切ったこともあり、さらに多くの皆様の参加を得て、金属必要量の確保に努めるとともに、大会に向けた一層の機運の醸成を図っていきたいと考えていることから、政府としても、プロジェクトの一層の周知を図るため、以下の取組を実施しています。

(1) 「メダルプロジェクト省庁リレー」の実施（詳細、参考4参照）

中央省庁に使用済み小型家電の回収ボックスをリレーで設置し、その回収を行う取組を展開しています。現在、回収ボックスは法務省が入居するに合同庁舎6号館に設置しています。

(2) 「ホストタウン・メダルプロジェクト」の推進（詳細、参考4参照）

ホストタウンのうち希望する自治体の教育機関等に使用済み小型家電回収ボックスを設置する取組を環境省と連携して実施しています。

11月15日に開催したホストタウン首長会議でも同取組への賛同を呼びかけたところであり、今後とも、必要量の確保に向け取組を推進していくこととしております。

2. 「ホストタウン・メダルプロジェクト in 山武」キックオフイベントの開催

山武市及び山武市教育委員会の協力を得て、櫻田大臣の出席のもと、千葉県山武市立山武南中学校で「ホストタウン・メダルプロジェクト in 山武」のキックオフイベントを開催します。

当日は、松下山武市長、加藤市議会議長、嘉瀬教育長のほか、一般社団法人古賀塾代表理事でバルセロナオリンピック（1992年）の柔道71kg級の金メダリストの古賀稔彦氏に参加いただき、山武中学校の皆様にもメダルプロジェクトへの理解と協力を呼びかけていただきます。

【参考1】「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」とは

同プロジェクトは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）が実施するもので、昨年4月から開始しているプロジェクト。

回収した使用済み小型家電から金・銀・銅あわせて約5千個のメダルを製作するもので、全国にて1,520自治体がこのプロジェクトに参加するなど、回収が進められています。

本年6月までの回収分による達成率は金が54.5%、銀が43.9%、銅が100%の状況であり、政府では、このオリンピック史上初の取組を成功させるため、ホストタウンのうち希望する自治体の教育機関や各省庁においても、使用済み小型家電の回収を行っています。

【参考2】山武市のホストタウン概要

里親里子交流をきっかけに、2014年12月にスリランカの事前合宿受入れが決定。

スリランカの青少年の招へい、中高生のスリランカ派遣、スリランカの伝統舞踊ショー等を行うスリランカフェスティバルやスリランカ公用語のシンハラ語教室を開催。

今回、メダルプロジェクトの前に行われる古賀氏の講演もホストタウン事業の一つ。

【参考3】古賀稔彦さんのプロフィール

1967年 佐賀県出身。

1992年 バルセロナオリンピック 金メダル（71kg級）

1996年 アトランタオリンピック 銀メダル（78kg級）

2000年 現役引退、全日本柔道女子強化コーチに就任。

2018年 一般社団法人古賀塾代表理事に就任。

【参考4】ホストタウン・メダルプロジェクト等の実施状況

○メダルプロジェクト省庁リレー

・内閣本府庁舎・合同庁舎8号館での回収を皮切りに中央省庁での回収をリレー形式で実施。気運の醸成を図るため、閣僚等による投函式を実施。

＜閣僚等による投函式の実施（実績）＞

6月：オリパラ大臣 7月：外務大臣、文部科学大臣 8月：財務副大臣

9月：復興副大臣 10月：総務大臣政務官 11月：法務大臣

○ホストタウン・メダルプロジェクト

・オリンピック・パラリンピック担当大臣より、ホストタウン自治体の長に対して、使用済み小型家電の回収の協力を依頼し、341の登録自治体のうち、希望があった39の自治体（別紙2参照）、1000校以上で順次回収を開始。気運の醸成等を図るため、以下のイベントを実施。

9月：「ホストタウン・メダルプロジェクト in 盛岡」キックオフイベント（鈴木前大臣出席）

9月：「ホストタウン・メダルプロジェクト in 栃木」キックオフイベント（新妻前大臣政務官出席）

「ホストタウン・メダルプロジェクト」実施自治体一覧

ブロック	自治体名
北海道・東北（9）	北海道釧路市、北海道登別市、岩手県盛岡市、岩手県紫波町、 岩手県大船渡市、岩手県陸前高田市、岩手県雫石町、 岩手県野田村、福島県郡山市
関東（8）	茨城県常陸大宮市、栃木県（※）、群馬県高崎市、 群馬県沼田市、千葉県山武市、千葉県横芝光町、 東京都武蔵村山市、神奈川県横浜市
中部（7）	福井県福井市、山梨県富士河口湖町、長野県安曇野市、 岐阜県羽島市、静岡県富士宮市、静岡県下田市、 愛知県豊田市
近畿（5）	大阪府池田市、兵庫県明石市、兵庫県加古川市、 兵庫県加美町、奈良県奈良市
中国・四国（1）	岡山県岡山市
九州（6）	福岡県築上町、佐賀県佐賀市、長崎県島原市、大分県大分市、 宮崎県都城市、鹿児島県大崎町

ほか 3 自治体

合計 39 自治体

※ 栃木県は県全域で実施。

別紙3

事前登録〆切
11月28日(水) 17:00

取材登録用紙

櫻田東京オリンピック・パラリンピック担当大臣の
「ホストタウン・メダルプロジェクト in 山武」
キックオフイベントへの出席について

【FAX送信先】

山武市 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室 宛

(FAX番号: 0475-82-2107)

以下のとおり取材を申し込みます。

御社名	
所属部署名	
ご芳名 (カメラマンを含む全員の 名前を記載)	
カメラの有無 ※〇で囲んでください	ムービー ・ スチール ・ なし
ご連絡先 (代表者の携帯電話を記載)	